

第4回



青少年中国文化体験訪問団

派遣事業報告書

友好都市・浙江省奉化市との交流事業



期日 平成24年8月17日（金）～8月22日（水）

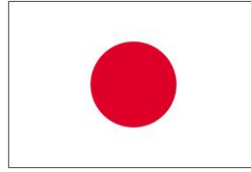
主催 入間市・入間市国際交流協会

<http://www.city.iruma.saitama.jp/i-society>

訪問団員名簿

訪問団員と

奉化市の友達



団長(引率者)
自治文化課
さわだ かずや
澤田 和也



中国語
通訳者
たかはし せいこ
高橋 茜子



いとう のぞみ チャン レイチエー
伊藤 望 蔣 雷婕

埼玉栄高校 1年 奉化市の友達



リン ムウハン たかむらかずき
林 墨翰 高村一輝

奉化市の友達 豊岡中学校 2年



フーア チュン イン あさみまさのぶ
何 峻 寅 浅見政信

奉化市の友達 向原中学校 1年



うえむらそう た チュリ ツー
上村壮太 裘 直

野田中学校 1年 奉化市の友達

日 程 表 「1」

- 国際交流協会総会 日時 5月 9日(水) 午後6時30分～
会場 産業文化センター2階 第2集会室
内容 被派遣者紹介、派遣事業における抱負を語る
- 第1回事前研修 日時 5月26日(土) 午後5時30分～午後7時00分
会場 産業文化センター2階 研修室
内容 派遣事業概要説明・事業日程・奉化市について・パスポート取得方法・写真撮影について
- 第2回事前研修 日時 6月16日(土) 午後5時30分～午後7時00分
会場 産業文化センター2階 研修室
内容 旅行保険・準備用品・外貨両替・旅費・互助会費・ホームステイの方法等・役割分担について
- 結団式 日時 7月 7日(土) 午後5時30分～午後6時00分
会場 産業文化センター2階 研修室
内容 市長、国際交流協会会長・副会長の出席により結団式を実施
- 第3回事前研修 日時 7月 7日(土) 午後6時00分～午後7時00分
会場 産業文化センター2階 研修室会場
内容 中国語のレッスン、お別れ会の出し物、ホストファミリー情報、旅費・互助会費の集金について
- 第4回事前研修 日時 8月 4日(土) 午後5時30分～午後7時00分
会場 産業文化センター2階 研修室
内容 滞在日程細部説明・質疑応答・各役割確認・出し物練習・報告書作成について
- 派遣期間 8月17日(金)～8月22日(水) 日程表「2」参照
- 帰国報告会 日時 8月24日(金) 午前11時00分～午前11時30分
会場 503会議室
内容 市長・国際交流協会会長・副会長へ帰国報告
- 入間万燈まつり 日程 10月27日(土)・28日(日)
会場 産業文化センター周辺
内容 市国際交流協会「世界のともだち広場」運営・協力

日 程 表 「2」

期 日	スケジュール	備 考
8月17日(金)	05:00 市役所正面玄関集合 05:05 市役所発(市中型バス) 07:50 成田空港着(第1ターミナル2F) 10:00 成田空港離陸・昼食(機内食) 12:40 杭州空港着(錦屏中学バスでお迎え) 16:00 奉化市着・ホストファミリーの家庭へ 17:30 歓迎会(华信大酒店) ホストファミリー宅(泊)	パスポートチェック 【制服】 (全日空) NH929便
8月18日(土)	08:45 藤頭村見学 09:30 溪口見学 09:45 蒋介石の故郷を見学 11:30 昼食(亭下湖飯店) 13:00 妙高台・千丈岩・弥勒大仏見学 16:00 奉化市着 ホストファミリー宅(泊)	【私服】
8月19日(日)	中国家庭生活体験 各々ホストファミリーとの1日を過ごす	【私服】
8月20日(月)	08:00 金峨村・黄賢村見学 11:30 昼食(南陽桜) 13:30 錦屏中学校見学・懇談 16:00 奉化市着 17:30 お別れ会(华信大酒店) ホストファミリー宅(泊)	【私服】 【制服】 奉化市・中学校へ記念品
8月21日(火)	07:15 奉化市発 10:08 杭州駅発(新幹線での移動) 11:09 上海虹橋駅着 豫園・上海博物館・新天地・外灘 東方明珠タワーなど市内見学 昼食(豫上海)・夕食(海鷗舫) (宿 泊) 虹橋賓館(上海市内ホテル)	【私服】 新幹線 G7384 便 貸切観光バス
8月22日(水)	09:30 虹橋賓館発 09:45 上海動物園 11:55 上海虹橋空港着 13:50 上海虹橋空港離陸・昼食(機内食) 17:40 羽田空港着(国際線ターミナル) 21:00 市役所正面玄関着	【私服】 (全日空) NH1260 便 市中型バス

派遣目的

中学生・高校生は豊かな感受性を有し、その将来は、無限の可能性を秘めており、国際社会への貢献を期待されています。この事業は、同じアジアに位置しながら日本とは生活・習慣・自然環境等が大きく異なる中国の異文化を、ホームステイや相互交流を通して青少年の時期に体験し理解する機会を提供すること、そして、奉化市との友好関係を深めることを目的に実施します。

◇これまでの派遣実績

2005 年（平成 17 年）	訪問団派遣	（9名）
2006 年（平成 18 年）	訪問団受入れ	（9名）
2007 年（平成 19 年）	訪問団派遣	（8名）
2008 年（平成 20 年）	訪問団受入れ	（8名）
2009 年（平成 21 年）	訪問団派遣	（4名）
2010 年（平成 22 年）	訪問団受入れ	（5名）
2012 年（平成 24 年）	訪問団派遣	（4名）

中華人民共和国浙江省奉化市

【友好都市提携年月日】 平成 12 年 5 月 16 日

【人口】 約 480,000 人

【面積】 1,253 k m² (入間市の約 28 倍)

【地理】 上海の南約 300 k m

【産業】 繊維産業、特産品は水蜜桃・茶・里芋・赤貝等「中国水蜜桃の郷」と呼ばれている。

【観光】 溪口(滝・湖等が有名)、雪竇寺(56.7mの弥勒大仏)

【歴史】 蒋介石・蔣経国の故郷、布袋様の出身地

【交流の経緯】

奉化市との間では、平成 8 年に「入間市奉化市友好交流協会」が設立され、その後、両市民が相互に訪問を繰り返すなど、主に民間による交流が活発に展開されて来ました。

平成 11 年に奉化市王副市长が入間市を訪問した際、友好都市提携が要請され、これを受け、平成 12 年 5 月 16 日、友好都市締結議定書調印式が行われました。

奉化市からは、市制施行周年式典・万燈まつりをはじめとする各種行事への訪問団が派遣されており、平成 17 年からは中学生異文化体験訪問団の相互派遣が始められました。平成 24 年からは、対象者を高校生までに拡大し青少年中国文化体験訪問団派遣事業として実施しています。

お世話になった奉化市の方々



【奉化市政府弁公室】汪仁芳 副主任



左：【錦屏中学校】余武彬 副校長
右：【錦屏中学校】顾文斌 政教主任



右：【奉化市政府外事弁公室】朱薇芬 主任
左：【奉化市政府接待弁公室】虞 晶 副科長



【奉化市人民政府】 陈彩凤 副市长



右：【奉化市日本語通訳者】李芸 さん
左：【錦屏中学校】杨诚训 校長先生

訪問団の交流記録

8月17日(金)

早朝5時、市役所前で市国際交流協会吉川会長らに見送られ、庁用バスにて成田空港へ向かい出発！全日空（NH929便）で一路杭州空港へ



▲出発前の集合写真



▲市役所正面



▲成田空港

8月18日(土)

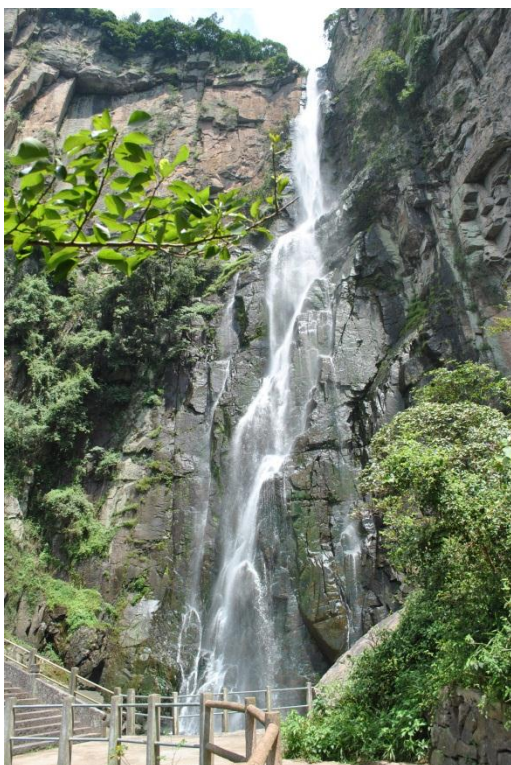
景勝地を見学！ 中国の自然・文化について学ぶことができました。



▲藤頭村



▲奉化溪口



▲千丈岩と滝



▲昼食の様子



▲弥勒大仏

8月19日(日)

この日は、ホストファミリーと自由に過ごし交流を深めました。



▲浅見政信さんとホストファミリー



▲上村壮太さんとホストファミリー



▲高村一輝さんとホストファミリー



▲伊藤 望さんとホストファミリー

8月20日(月)

この日は、錦屏中学校を見学しました。
日本の学校との違いなどについて意見交換をしました。生徒のみなさんと友好を深めることができました。



▲校舎の前で記念写真

8月21日(火)

お世話になった奉化市の皆さんとお別れです。
ホストファミリーの皆さんを始め、錦屏中学校、市関係者の皆さん、本当にありがとうございました。そして、上海に向けて新幹線で移動！



▲お別れ会の様子



▲「世界に1つだけの花」の合唱



▲ホテル前でのお別れの様子



▲上海のシンボルタワー東方明珠

外 灘



▲豫園での様子



▲上海博物館前で記念写真

▼機内から見える富士山



8月22日(水)

中国での生活も最終日。上海虹橋空港から約3時間半で羽田空港へ無事帰国！



▲無事に帰国

初日 8 / 17 (金) 出発

担当：浅見 政信

時刻	行動	場所	内容
05:00	集合	市役所前	出発会 みんな眠そうながらも集まった！ リーダーの言葉もっということがあったのに・・・くやしい！！
05:05	出発	市役所前	バス乗り込み バスに乗って僕が最初にしたことそれはお菓子配り！思わずいっぱい持ってきちゃった(^O^) 一輝と伊藤さんとはまだ仲良くなっていなかったからほぼ壮太と話していた。朝早かったから一輝、望、壮太共に睡眠、みんな寝顔が面白い！！
07:50	到着	成田空港	搭乗まで1時間位。時間までテレビで甲子園中継を見ていました。機内では音楽をずっと聞いていた！
10:00	出発	飛行機	昼食（機内食） 一言で言うと少なすぎだ～～！！！！！！！！！！ しばらく空を見ているとなんと虹が出ていた。起きているかいたがあった！！
12:40	到着	杭州空港	やっと着いた。錦屏中学校の先生が迎えに来てくれました。 バスで奉化市に向かう・・・ バスにしばらく乗っていると東京タワーがありました。 その正体は家のアンテナでした。驚き Σ(°д°Ⅲ)
15:00	到着	ホテル	ホームステイ先の子どもと出会いました。僕のペアはとても背が高かったです。一度ホームステイ宅へ・・・ 家に着いたら困碁と五目並べをしました。
17:30	到着	ホテル	歓迎会 みんなで笑ったりしてもう大騒ぎ。 一輝はイタズラにも程がある！
19:30	到着	家着	家に帰るとシャワーを浴び歯磨きをしました。
21:00		ホテル	卓球対決 寝ようと思ったときいきなりホテルまで行き卓球をしました。 中国の友達にはとても歯が立ちませんでした。
22:00	到着	家着	やっと眠れました。 明日からが楽しみです。(°O°)



2日目 8/18 (土)

担当：上村 壮太


時刻	行動	場所	内 容
08:30	出発	ホテル	全員が遅刻しない！！ ぴったりに出発！ 意識向上！
08:45	到着 見学	藤頭村 景勝地	中国の有名な自然を見学しました。 ハトを呼ぶ?? 餌のところによってくる！
09:45	到着	奉化溪口	奉化市に来たらここ！！ 観光地で有名な門の前で記念撮影をしました。
		千丈岩&滝 妙高台見学	日本のジュースも売っていた。 例えばコーラやファンタ、午後の紅茶など、他にもドラえもんやアンパンマン、名探偵コナンなど・・・ バクリ疑惑?? 約 300 段の階段をダッシュ！！ 高いところからの景色は絶景でした！ 降りもダッシュ？危ないでしょ！ でもやる！！
14:30		弥勒大仏	奉化市の有名な大仏 5つの大仏から守られている！
19:30	解散	それぞれ	1 回帰ってまた、ホテルの卓球場へ
20:30	集合	卓球	思いっきり楽しんだ！ なぜか、リーダーは水泳？
23:00	就寝		布団に入ると、即ぐっすりでした z z z



人がたくさんいて、バッグやパスポートの管理には気をつけないと！

3日目 8/19 (日)



担当：伊藤 望

時刻	行動	場所	内容
08:20 08:40	集合 出発	ホテル	<p>今日はホストファミリーと一日を過ごす日 朝から団員4人と、それぞれのホストファミリーの皆さんで集まって、川下りをしに行った！ 少し眠かった…！</p> <p>川下りの場所までは結構遠いらしく、ホストファミリーの方たちが、バスを用意してくれました！ 行きのバスの中では、奉化市の子たちに日本語を教えたりしてにぎやかでした。「あさり」とか「サラミ」とか… (笑)</p>
10:00	到着	柏坑峡谷漂流	<p>川下りをする柏坑峡谷漂流というところは、窓から見ているかぎりでも恐そう…！</p>  <p>上の写真はさすがに川下りをするところじゃないですけど、川下りはこの下流から…。高いっ！！</p> <p>順番待ちの時に、上流から降りてきた人が転覆してけがをしたので、少し恐かったです…</p> <p>でも実施に下って行くと、流れの速いところと遅いところの差が激しく、ジェットコースターに乗っているみたいで楽しかった！！ 落差がだいたい1mのところも！</p> <p>叫びながら降りて、日頃のいろいろやストレスを発散できました。)^o^((笑)</p>

時刻	行動	場所	内容
12:40	昼食	レストラン	<p>お昼はみんなでレストランへ。</p> <p>日本ではあまり見慣れないような料理もたくさんできて、「何これ？」っていうのもありました。そういう物も、食べてみると意外とおいしかったです。</p>
15:00	解散	それぞれ	<p>家へ戻って 1 時間くらい休憩をとってから、レイチェンとゲームをしたりして遊びました。</p> <p>ほかには、レイチェンの好きな日本のアニメなどを見たり、雑誌のいろいろな写真のページの切り抜きをもらいました。(笑)</p>
17:30	夕食	レストラン	<p>夕食はまたみんなで集まって、ホテルの近いところで食べました。カニとかエビとか豪華なものをたらふくいただきました。おいしかった！☆</p> <p>食後は、男の子たち VS レイチェンのテレビのチャンネルの奪い合いを見学。見ていておもしろかった。(笑)</p> <p>ジュラシックパークの中国語吹き替え版とか、猫みたいな主人公のアニメとかを放送していました。</p> <p>結局男子チームが勝って、ジュラシックパークを見ていました。</p> <p>ストーリー知っていたからだいたいは分かった！</p>
19:00	解散	それぞれ	<p>解散後、ホストファミリー宅の近くの本屋さんへ行って、東京ガイドブック等を見ました。はじめて知った場所がたくさんあった！</p>
22:30	就寝		<p>寝る前にレイチェンに日本語を教えたり、お互いの写真を見せ合ったりしました。レイチェンのおじさんが見たことのあるような人でびっくり！！</p> <p>今日はたくさん叫んだりして疲れたので、ぐっすり眠れそう…</p>

3日目 8/19 (日)

担当：浅見 政信

時刻	行動	場所	内容
08:40	出発	ホテル	今日は各自行動なのにみんなで集まって大きな川にいきました。そしてボートに乗り川下りに挑戦！ 僕はなぜか人数合わせで知らないおじさんと乗りました。約90度の滝を下るのがとても怖かったです。
12:40	到着	昼食	ごはんはいつも通り楽しかったです。  
15:30	家着		団長の澤田さんたちが家庭訪問に来ました。

3日目 8/19 (日)

担当：上村 壮太

時刻	行動	場所	内容
08:40	出発	ホテル	この日も全員遅刻しない またさらに意識向上！！
10:00	到着	川	川下りをする！ 中国の友達とペアになってボートへ なぜか、リーダー、私服でダイブ！
12:40	到着	昼食	カニがうまい！！ 食べないのがもったいないよ～ リーダー！
15:00	到着	ホテル	帰ってくるのに3時間もかかってしまった。
15:15	解散	それぞれ	家に1度戻って、iphoneで名探偵コナンを見ました。 なぜか字幕が日本語！
17:30	到着	夕食	さらに、友情深まる！ コミュニケーション能力も向上！！
22:00	就寝		明日の準備の途中でバタリッ（おやすみ）！！

4日目 8/20(月)

担当：高村 一輝

時刻	行動	場所	内容
08:00	集合	ホテル	8時だよ～全員集合～
08:40	出発		移動のバスでは、「こんにちは」や「こんばんは」などの日本語を奉化市の友達に教えて盛り上がりました。
09:20	到着	金峨村	<p>建築中の家を見学しました。地下1階、地上3階建の豪華な家が並んでいました。</p> 
11:30	移動	黄賢村	<p>万里の長城に似た塼で囲まれた新しい村を見学しました。頂上までみんなで競争しました。頂上にある建物は台風で被害がありました。</p> 
13:30	見学	錦屏中学校	<p>ホストファミリーたちが通っている学校を見学しました。全校生徒 1200 名の大きな学校で、日本の中学校と規模が違いました。 中国の中学生は努力家でした。</p> 

5日目 8/21 (火)

担当：浅見 政信

時刻	行動	場所	内容
07:15	出発	ホテル	<p>みんなとお別れ悲しい(´Д`´)</p> <p>錦屏中学校の先生が杭州駅まで送ってくれました。</p> 
10:08	出発	杭州駅	<p>新幹線に乗り上海虹橋駅に向かいます。</p>
13:10		上海市内	<p>上海観光</p> <p>ちゃっかりパンダスーツ買っちゃいました(^-^)</p> <p>つぎに上海博物館に行きました。いろんなものがありました。</p>   <p>昔のチェス両方ポーンが違う！！</p>
21:15	到着	ホテル	<p>やっとホテルに着いた広ーい部屋</p> <p>夜は一輝と壮太、望さんと11時ぐらいまでずっと遊んでいました。</p> <p>明日はもう帰国、今のうちに遊んでおこう zzzzzz</p>

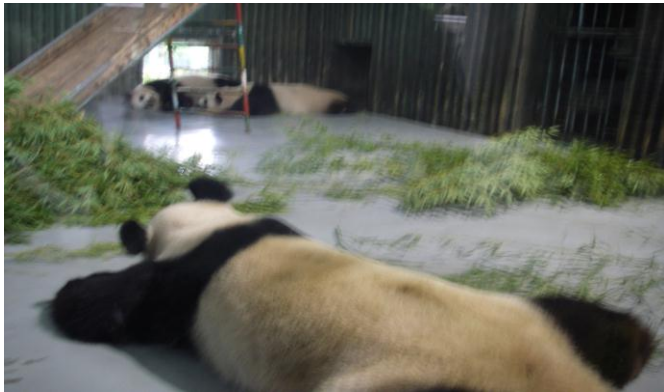
5日目 8/21(火) 上海


担当：上村 壮太

時刻	行動	場所	内容
6:45	集合	ホテル	ホストファミリーとの別れ みんな涙目・・・
7:00	出発	ホテル	見送られ、手を振りながらさよなら・・・
10:08	出発	杭州駅	いよいよ、奉化市とさよなら・・・ 時速300kmで走る新幹線に乗る！！
11:09	到着	上海虹橋駅	ガイドのリーさんと合流し、出発！
12:30	昼食	豫園	小籠包や餃子など中華料理を食べた！
		上海博物館	中国の有名な石や建造物を見学した。 中国の3大博物館で、 焼き物などいろいろあった！ 1番人気
		新天地 土産屋	日本でいう、銀座的なッ！ 日本でも有名な店もあった！ 100元ショップ(1400円ショップ)でたくさん買い物 えっ！リーダー、それ何？ パンダの気ぐるみ？
18:00	到着	夕食	中国最後の夕食全て美味しい！初めて完食！
19:15	到着	東方明珠塔	展望台からの景色は、絶景！！
			 なんと、持ち込禁止で ジュース4本捨てる！！
			
19:15	到着	虹橋賓館	各自の部屋へ、シャワーをあびて、次の日の準備！
00:00	就寝		布団に入ると、すぐ、ぐっすり・・・

6日目 8/22(水) 帰国

担当：伊藤 望

時刻	行動	場所	内容
07:00	起床	虹橋賓館	<p>朝起きてチャンネルを回したら、日本のラジオ体操をテレビで放送していました。その他にもスポンジ・ボブとか、日本でも放送している番組がたくさん放送されていて驚きました。</p> <p>朝ごはんはバイキングで、いろいろなものが食べられました。その中には、和食もありました。でもお気に入りにはパンです。おいしかった☆</p> <p>今日はパンダに会いに行くので楽しみ！</p>
09:45	到着	上海動物園	<p>雨がパラパラ降ってきたし、時間も無かったのでカートに乗ってパンダのところへ移動しました</p> <p>自由時間になって初めて見たのは『レッサーパンダ』。とりあえず、かわいかった！！</p> <p>見ている人たちになにか食べ物を貰おうとしているのもしれば、木の後ろで寝ているのもいた！ウトウトしているところもかわいかった。</p> <p>次に見に行ったのは、『パンダ』！ほとんどのパンダが寝ていました。色はあまり白くなくて、なんか・・・汚かった(笑)</p>  <p>寝ているからか(?) すごく大きく見えた。さすが、ジャイアントパンダ。気持ち良さそうに寝ていてかわいかったけど、起きてて欲しかった…。日本のパンダと違うところってあるのかな？</p>

時刻	行動	場所	内容
11:55	移動	上海虹橋空港	<p>この後もキリンやトラなどいろいろな種類の動物たちを見ました。なかでもヒョウがお昼寝している姿はかわいかったです！</p> <p>すごくリラックスしたような顔つきですやすやす寝ていた... いいなあ～(笑)</p> <p>今回は時間の関係で一部しかまわれなかったけど、いつかまたここに来て見られなかった園内をまわりたいです。 できれば5年以内に...</p> <p>搭乗時間まで免税店でお土産や、他にもいろいろと見てまわっていました。 ちなみに、私は自分用にお菓子を購入...</p>
13:50	離陸		<p>機内ではずーっと映画を見ていました。 おもしろかった(笑)</p> <p>途中、富士山がきれいに見えた！</p>
17:40	着陸	羽田空港	<p>気流の影響を受けて、予定よりも少し遅れて羽田へ。</p>
21:00	到着	市役所	<p>予定していた時間をかなり過ぎての到着なので、挨拶は手短かに終えて解散しました。 皆さんお疲れさまでした！</p>
			

中国で体験したこと

伊 藤 望

わたしは去年もこの派遣事業に申し込み、訪問団員として中国へ行く予定だったのですが、団員の人数が足りないという関係で行けませんでした。なので、今回一年越しで実現できました。

中国へ行って最初に驚いたのは、人によって個人差はありますが料理の味付けです。例えば、二日目の朝食で頂いたうどんです。普通日本のうどんには、塩っ気のあるイメージがあります。しかし、そのとき頂いたうどんはとても甘かったです。他にも緑茶のペットボトルに「低糖」と書いてあって、紅茶のような味がしました。



国によって、見た目が同じでも中身が結構違うと思いました。

また、交通などの面では、路上に乗り物を停めて本気で寝ていた人がいたということに驚きました。隣を自動車やトラックがびゅんびゅんと走っていたのに、全くと言っていいほど起きないでいたので、図太い神経をしているのだと思いました。

この事業ではじめて体験したホームステイでは、そのホストファミリーはもちろん中国の人なので、「こんにちは！」などの基本的な挨拶以外の日本語が話せるという訳でもなかったため、ほとんど英語やジェスチャーなどを交えて会話をしていました。それでも相手に理解してもらえない時には、電子辞書で中国語を検索したり、絵を描いて説明しました。だから、相手にどのようにしたら自分の気持ちが伝わるのかということ、わたしなりに頭をフル活用しながら



から考えて会話や筆談などをしたので、だいたい気持ちは伝えられたと思います。

わたしのホームステイ先のレイチェンという女の子との会話は、ほとんど筆談だったのですが、きっとお互いに気持ちを理解できていたのではないかと思います。

わたしが、相手がどのようなことを言っているのかというのをわかろうとしてい

たからなのか、奉化市に滞在する最終日には、中国の人同士で話している内容がどのようなことなのか、雰囲気だけですが少しだけわかった気がします。

第二目標としていた「ホームステイ先の家族と仲良くなる」ということは、達成できたと思います。

わたしとレイチェンとの距離が縮められた一番の出来事は、三日目の川下りをしたときだと思います。その日にはレイチェンとだけではなく、他の日本・中国の中学生たちとも水をかけ合ったり遊んだりして、自然の中でコミュニケーションがとれ、楽しく過ごせたと思います。

現在、日本と中国の関係は尖閣諸島問題で揺れていますが、派遣期間中での交流においては、そのことによる影響は感じられないほど平和に過ごすことができました。両国には歴史的・政治的な問題がまだまだありますが、わたし達青少年のつながりが関係緩和の架け橋になれば良いと思います。

1 この事業に参加するにあたっての目標

第1目標 中国の食文化や、日本との生活上での違いなどを理解する

第2目標 ホームステイ先の家族とはやく仲良くなり、積極的にコミュニケーションがとれるようにする。

2 目標達成のために努力、研究したこと

一度中国へ行ったことのある姉にどのようにふるまえば失礼がないのかを聞いた。

3 目標に対する成果（自己評価）

第一目標、第二目標ともによく見たり、体験したりすることができたと思う。特に第二目標のコミュニケーションは積極的にできた。

4 この経験を生かして、努力したいことや挑戦してみたいこと

日本と近い国の中国でさえ日本と中国違うところは、いろいろとあったので、また違う国へ行き生活を体験してみたい。

5 今回の訪問で一番印象に残ったこと

三日目にみんなで川下りをしに行ったこと。

そこで、自分のパートナー以外の子とも話げできたから。

交流に参加して得たこと

高村 一輝

現在、僕が熱中しているAKB48（エーケイビィ・フォーティエイト）の活動を通じて、奉化市の中学生の考え方を聞いて交流を図ることを楽しみにしていました。日本文化となったAKB48の活動が海外に進出したことで、中国の中学生がどのように考えているのかを直接確認したかったのです。

また、日本キャラクターのコピー商品の問題など、日本で報道されている中国の情報について自分の目で確認しようと思いました。

第1目標としていた、現在の日本文化となったAKB48を通じて交流を図る為に、これまで香港、台湾、シンガポールのAKBショップを訪れて情報収集をしてきました。錦屏中学校での意見交換会の際に、日本のアイドルについて聞いたところ、AKB48のことは1人も知りませんでした。共通な話題で奉化市の友達と交流を図れると考えていたので非常に残念でした。

また、上海を訪問した時に、日程の関係でAKBショップに行けなかったのはとても残念でした。

第2目標としていた、中国語でコミュニケーションを図ることは、中国語が良くわからなかったので、英語の動詞だけで伝える様に工夫をしました。しかし、自分の意思が伝わらなく朝食の時など苦労しました。

僕が今回の派遣事業で感じたことは、お世話になったホストファミリー宅はエレベーターの付いていないマンションでしたが、部屋のカギはオートロックでホテルみたいでした。また、自転車やオートバイが主な交通手段と聞いていたのですが、実際に行ってみて自動車が多かったのには驚きました。中国の経済成長の実態を肌で感じました。

食事は日本で食べているような中華料理ではなく、初めて食べる料理が多かったですがおいしかったです。色々なことで、日本との違いを感じる事が出来ました。



上海に移動する際に、以前事故があった中国の新幹線にりましたが、300 km/h を超えるスピードで不安でしたが良い経験ができました。

来年、お世話になった奉化市の中学生が入間市に来ますが、何を体験し、何を見学したら喜ぶのかを考えて、再会することを楽しみにしています。

1 この事業に参加するにあたっての目標

第1目標 現在の日本文化となった AKB48 を通じて交流を図る

第2目標 中国語でコミュニケーションを図る

2 目標達成のために努力、研究したこと

中国の友達とコミュニケーションを取れるように中国語を勉強した

3 目標に対する成果（自己評価）

言葉が通じなかったため、自分の考えていることを 100%相手に伝えることが出来なかった。

4 この経験を生かして、努力したいことや挑戦してみたいこと

国によってマナーや習慣の違いを知ったので、他の国の文化にも触れてみたい

5 今回の訪問で一番印象に残ったこと

上海では有名な AKB48 でも奉化市では知られていなかった。
地域によって文化の違いを感じた。

5日間の思い出

浅見 政信

僕が今回の青少年中国文化体験訪問団派遣事業に参加して学んだこと。

◇日本と違うところ

服装は、日本とほぼ同じでしたけど男性の場合パンツだけでもいいそうです。中国での食事は、テーブルからはみ出すほどのたくさんの料理にびっくりしました。日本では朝ごはんを食べてから歯を磨くのに、中国では食べる前に歯を磨いていました。

車は道路をまっすぐ走らずバラバラで、バイクは10秒に1回の割合でクラクションを鳴らしていました。横断歩道を渡るのが危険に思いました。また、日本とは反対の右側通行だから、信号が赤でも右折できます。日本とは違う習慣に驚きました。



中学校では、教室にパソコンが置いてあり、ぼくは中国の方が教育施設は発達しているように思えました。日本とは違う文化を感じることが出来ました。

◇中国に行った感想は

印象に残っているのは、思っていたよりもすべてが凄かったことです。確かに空気が悪く蒸し暑かったけど、料理と歴史でははるかに日本より歴史を感じました。今までの中国の印象が、この事業に参加してぼくにとってとても良い国に思えました。また、外国では通じあえないと思っていたお笑いについても、多少の英語やジェスチャーで相手に伝わった時はとても嬉しかったです。

お別れ会では、両市のみんなが主役になっていろいろと披露をしました。



ぼくは壮太と手品をしました。最後のマジックがバレそうでハラハラしましたが、上手く出来ました。望さんはフルートを披露しました。一輝は入間市の紹介をしました。みんな緊張しているように見えたがしっかりと出来ました。ぼくもスピーチをしました。

緊張して不安でしたが通訳の高橋さんのお蔭で成功しました。

レイチェーは僕の好きなトルコ行進曲を演奏してくれました。リンくんはカンフーをしてくれました、かっこよかったです。中国の友達 4 人で「北国の春」を日本語で歌ってくれました。とても上手で感動しました。

最終日に上海に行った時に、パンダのスーツを買って上海動物園で着ていたら、観光客から写真を求められました。少し恥ずかしかったけど、本当に中国ではパンダが人気だということがわかりました。また、路上で商人に付きまとわれたことがありました。いらない物はハッキリと言えるようにしたいです。今まではひとりで出来なかったことも、ひとりで出来る様にならなくてはと考えました。

今回の派遣によって自分自身が成長したと思います。また、このような派遣の機会があったら、是非参加したいと思います。

- 1 この事業に参加するにあたっての目標
 - 第1目標 日本の笑いが通じるかを知る
 - 第2目標 本場の味を覚える

- 2 目標達成のために努力、研究したこと
 - お笑いの伝え方を研究した
 - 料理の名前を研究し覚えた

- 3 目標に対する成果（自己評価）
 - お笑いが通じた ○
 - 味を覚えた◎

- 4 この経験を生かして、努力したいことや挑戦してみたいこと
 - これからの中国の歴史の勉強に役立てる
 - 中国の家庭料理を作る

- 5 今回の訪問で一番印象に残ったこと
 - 言葉（日本語）が通じなくても気持ちで分かり合えることが印象に残った。

中国訪問の思い出

上村 壮太

今回の訪問を通して1番心に残った事は、ホストファミリーの優しさでした。僕が、くしゃみを1回しただけで薬を出してくれるほど、僕のことに関心を持ってくれたことでした。とてもうれしかったです。ホストファミリーの方々が親切にしてくれて、我が子の様に迎え入れてくれました。

出発前は、異国での生活に多少の不安はありましたが、ホストファミリーの優しさを感じて安心しました。今回の派遣の目的である異文化体験を積極的に取り組めると感じました。

日本で生活している環境と比べると物価が安く、スーパーでは30円くらいの商品がたくさんあり、日本では考えられないくらいの値引きもしてくれました。その国の習慣や生活スタイルを直接感じる事が出来ました。また、食事は沢山の料理でもてなしてくれました。日本で見かける食材を使った料理もありましたが、見たことのない食材を使った料理もありました。特に驚いたのは、ヘビの肉のから揚げでした。形からは想像できなかったのですが、食べる前には分からなかったです。食べてみるととてもおいしかったです。帰国報告会の時に、忽滑谷副会長からヘビ料理は高級食材と聞いてよい体験ができたと思いました。



中国の歴史では、蒋介石を始めとする有名な大統領の生活や、政治の改革など、中国はその時代によってずいぶん文化や風習のちがいがあるようでした。現在も残る施設等を見学して、教科書で見たことのある中国の歴史を感じることができました。



コミュニケーションの方法は、ホストファミリーの方がiPhoneを使って中国語を日本語に変換してくれました。そのため、コミュニケーションの幅が広がって、自分のことを少しでもわかって貰えたと思いました。派遣前の目標に近づいたかなと思いました。

錦屏中学校の2000人の生徒の代表10人の生徒会役員の人と話し合いをした時に、1番驚いたのは、名探偵コナンや、ワンピースなどの日本のアニメを中国のアニメと断言しているところに驚きました。中国でも日本のアニメは人気がありました。

また、最終日に訪れた上海で1番心に残っているのは、上海タワー（東方明珠）の展望台からの夜景ですごく絶景でした。世界の大きさを感じました。ホテルでリーダーなどとテレビを見たり、しゃべったりとすごく楽しい時間を過ごすことができました。この貴重な経験を自分だけのものと思わずに、家族や学校、塾の友達に伝えていきたいと思いました。

1 この事業に参加するにあたっての目標

第1目標 中国の異なった文化を積極的に体験し、交流を深め、貴重な経験を友達へ伝える

第2目標 入間市の代表であると常に頭に入れて、しっかりとした態度で迷惑をかけないように努める

2 目標達成のために努力、研究したこと

中国の友達と積極的にコミュニケーションをとり、入間市代表としての交流が図れた

3 目標に対する成果（自己評価）

僕は、常に入間市代表だということを頭に入れてできたと思います。この貴重な体験を自分1人のものにしないで、友達にも、中国に興味をもってもらえるよう、話をしていきたいと思います

4 この経験を生かして、努力したいことや挑戦してみたいこと

中国語について深く学んで、日本語との違いを調べて、最終的には中国語の検定を取れるまでになりたいと思います。日本と近い国の中国でさえ日本と違うところは、いろいろとあったので、また違う国へ行き生活を体験してみたい。

5 今回の訪問で一番印象に残ったこと

入間市の友好都市奉化市と、大都会上海の人の多さは、奉化市の7～8倍くらいだと思いました。夜もにぎやかで1番心に残りました。

理解し合う国際交流について

通 訳 高 橋 茜 子

私は、青少年中国文化訪問団の通訳として初めて参加しました。通訳としてのお手前はこれまでも数多く経験しましたが、訪問団の随行通訳は初めての経験でした。言葉を伝えることだけではなく、言葉では表せないことも表現し、正確に意思を伝えることに努めました。また、参加する子供たちが有意義な交流が図れるようにサポートしたいと考えていました。

日本と異なった風習と文化を持つ国の人々と交流することにより、訪問団のみなさんが不安を感じながら、出発前の事前研修で一生懸命に中国文化を勉強している姿に感銘を受けました。疑問を思ったことにストレートに質問してくる子供達の向上心に感心しました。



両市の子供たちは、最初は緊張気味でしたが、お互いに積極的に意見を出し合い、また相手の言っていることをできる限り理解し合おうとしていました。どうしても言葉が通じず理解出来ない場合は、できる限りの手振りや身振りで伝え合い、メールや電子辞書等を使ったりして一生懸命に伝えようとする姿が、食事中やバスの移動中等で見られ大変感動しました。

錦屏中学校の見学中では、両市の子供たちが学校の生活に関して意見交換や好きなアニメについてお互いに質問し合う中で、相手から学ぶことが多く有ると言うことが分かったように思います。



お別れ会では、入間市の子供達が準備してきた手品で両市が心を一つにして、一緒に楽しく振る舞っている姿は、訪問団の澤田団長を始め奉化市の皆様方と打ち解けた明るい雰囲気、両市の友好が一層深まったものと感じました。

中国では「理解万歳」という言葉があります。

相手を思いやる心から国際交流が始まると考えます。このような交流をする事によって、双方の違いを認識し、又相手の立場を認め合う心を育てることが交流事業の一番大切な目的の一つであると考えています。このことが世界平和にも繋がると信じております。

今回、訪問団の一員として参加した4名の子供たちは、この派遣事業を通じて中国の自然文化や国民の人情性について、自分の目で見て、耳で聞いて、自分の肌で感じたすべての物は、これからの子供たちの人生に大きな影響を与え、日中間の平和な架け橋になってくれる事と信じております。これこそが本当の意味での国際交流の実感が出来たのではないかと考えます。

最後に、今回通訳として参加させて頂いた事が大変勉強になりました。

この事業成功の為に、事前準備から随行・送迎と携わっていただいた入間市の職員の皆様、私たちを迎えてくれた奉化市の関係者の皆様、ホームステイを受け入れてくださったホストファミリーの皆様方に心より感謝申し上げます。

思いやりから交流事業が始まる

団 長 澤 田 和 也

友好都市中国奉化市との青少年派遣事業は、平成17年度から両市の間で相互に交流を図ってまいりました。昨年は奉化市へ中学生を派遣する予定でしたが、参加者不足で延期となり、今回2年ぶりに交流事業が実施出来たものです。

派遣対象者を、これまでの中学生から高校生までに拡大して募集したところ、中学生男子3名と高校生女子1名からの応募があり、選考を経て4名全員を被派遣者に決定しました。ホームステイを通じた異文化体験、友好都市交流事業に自ら手を挙げて国際理解を図ろうと参加した子供たち、更に彼らの背中を後押ししていただいた保護者の皆様のご理解により交流事業が実施出来ました。

派遣前には、異文化体験、両市の友好関係の推進を達成する為に、4回の事前研修を実施しました。事前研修において参加者同士のコミュニケーションを図り、奉化市との交流経緯や中国文化や習慣について学習しました。そのなかで、中国語での自己紹介に取り組み、随行通訳者の高橋茜子さんから中国語の発音を熱心に学ぶ姿がありました。更に、気になる言葉があると、中国語での発音を確認するなど積極的に取り組む姿勢を感じました。

また、事前研修において訪問団として次の4つの課題を念頭に置いて行動するようにお願いしました。

1. 入間市の代表としての公的派遣である『自覚』
2. 異文化を積極的に受け入れる『国際理解』
3. 団体行動を守る『自己責任』
4. 感謝の気持ち『思いやりの心』を自ら表現する

4名の子供たちにとっては初めての海外ホームステイでしたが、言葉も通じにくい環境の中で、交流を深め中国文化や習慣を学ぶなど、貴重な体験ができたものと思います。そして、滞在中は、歓迎会やお別れ会を含めた様々な場面で、ホストファミリーをはじめとする奉化市関係者との交流が深められました。

また、派遣目的のひとつである友好関係の発展に寄与することができたものと考えております。

子供たちは、奉化市の中学生と様々な方法でコミュニケーションを図っていました。言葉の壁を乗り越えて両市の子ども達は元気に交流を図り、お互いの言葉を教え合うなどの国際交流が図れていました。また、錦屏中学校を訪問した際には、学校施設の充実、学校規模の大きさ、全校生徒の多さに驚いた様子であり、生徒会役員との交流会では同世代の素直な意見交換が出来きました。なかでも、生徒会役員と仲良く一緒に写真を撮る様子などは、これまで築いてきた両市の友好関係の成果を強く感じました。

この様に、今回の訪問団派遣事業は、募集人員8名に対して半分の4名での実施でありましたが、実施できたことに大きな意味があり、参加した子供たちには貴重な体験になったものと感じています。

訪問団の団長として、次世代を担う子供たちが純粋な視点から、異文化体験に取り組み、両市の友好関係の発展に努められるように、随行通訳者と共に適切な判断をして交流を図ってまいりました。また、訪問中にも両国の外交問題が緊張するなかにおいて、日本で報道されている内容と中国での報道の違いに戸惑いを感じながら、現地の最新の情報を収集して、訪問団の安全を第一に行動してまいりました。

この派遣事業に参加した子供たちは、自分の目で実際に見てきたこと、異文化体験を通じて得たこと、多くの大切なことを学びました。出発前にイメージしていた中国に対する印象と、どのように感じたのでしょうか。人により感じ方は違いますが、これからの彼らの人生のなかで必ず参考になる貴重な体験をしたことでしょう。この体験を、自分だけの宝物にせず、家族・友人・地域に還元して、自らも成長して欲しいと期待しています。

来年は、奉化市の中学生が入間市を訪問します。今回、お世話になった感謝の気持ちを込めて、充実した日本文化体験、入間市の紹介が出来るように、今回派遣された子供たち自らが彼らを受け入れることが、相互交流であり、友好関係の発展に貢献できるものと考えます。

お別れ会

【2012年8月20日（月） 华信大酒店】

進行：奉化市 裘直
入間市 上村壮太

両市青少年の出し物

No	出し物	備考
1	【奉化市】 エレクトーン演奏「土耳其進行曲」	蔣雷婕
2	【入間市】 フルート演奏	伊藤望
3	【奉化市】 武术表演	林墨翰
4	【入間市】 手品 「トランプ手品」	浅見政信・上村壮太
5	【奉化市】 奉化市の紹介	何峻寅・裘直
6	【入間市】 入間市の紹介	高村一輝
7	【奉化市】 合唱 「北国の春」	全員
8	【入間市】 合唱 「世界で1つだけの花」	全員

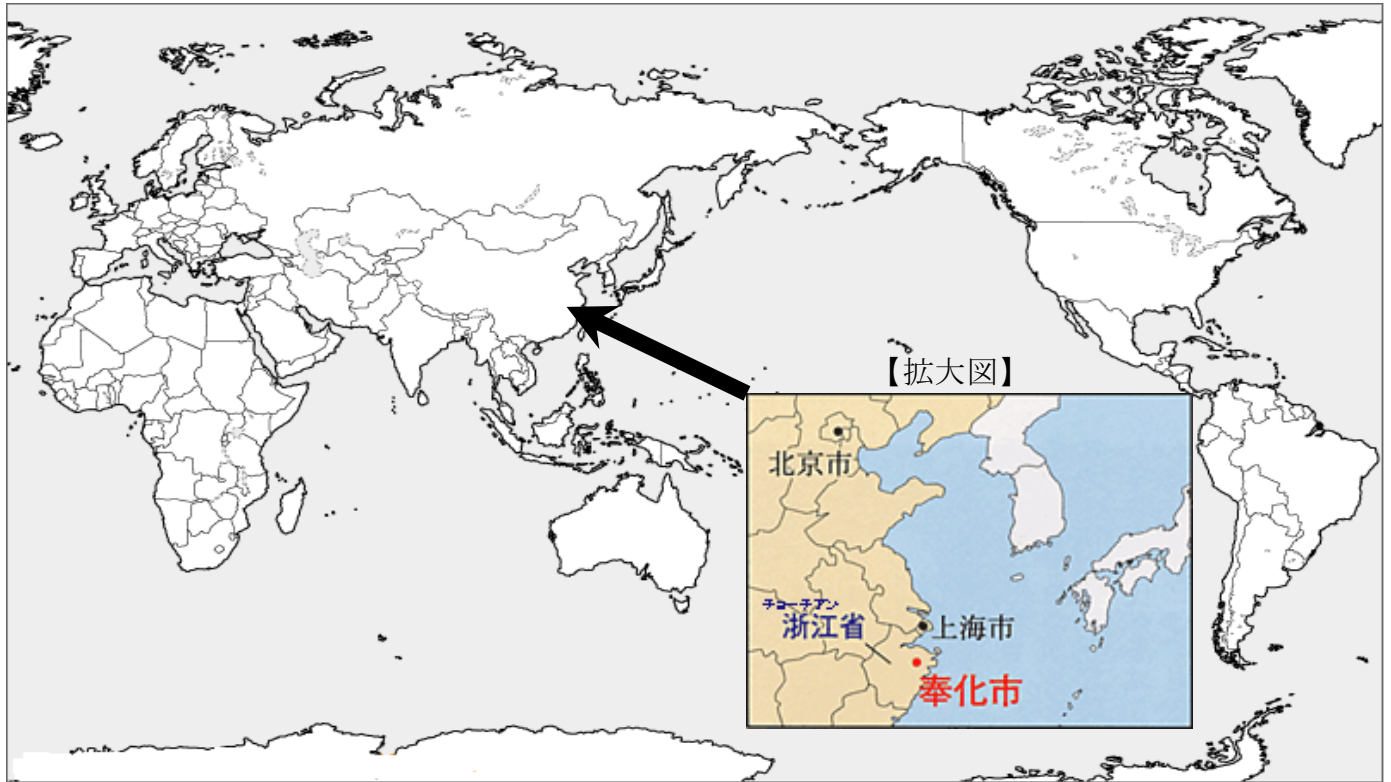


◇合同結団式



◇無事に帰国！





編集・発行

〒358-8511 入間市豊岡 1 - 1 6 - 1
入間市 自治文化課 国際交流担当

TEL 04-2964-1111 内線 2146

FAX 04-2965-0232

URL www.city.iruma.saitama.jp/i-society

E-mail i-society@city.iruma.lg.jp